

アルキン類へのハロゲン化水素の付加はハロゲン化物イオンの反応性が低いために非常に効率の悪い反応である。そこで私は擬似分子内反応を用いることにより、本反応の効率化を検討した。

本反応ではエチニルアニリンはアニリウム塩を形成することによりハロゲン化水素を近傍に引き寄せる。この空間的な近さのためにエチニル基のハロゲン化水素化が効率良く進行することを見出した。本反応はエチニル基上の置換基 (R) がフェニル基の基質だけでなく、アルキル基や官能基を有する基質にも応用することができることを明らかにした。さらに、アニリン骨格にも置換基を導入し、その電子的な性質がどのような影響を及ぼすかについても検討を行なった。

